

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信 第36号 2006年 5月

# やどりき水源林ニュース

発行 (社)かながわ森林づくり公社県民運動課 編集 かながわ森林インストラクターの会  
 〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2  
 ☎0465-85-1900 URL: [http://www.ny.airnet.ne.jp/k\\_sinrin](http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin)

## やどりき水源林 定例観察会のお知らせ

毎日曜日午後1時より1~2時間の水源林をご案内する観察会をかながわ森林インストラクターの会【森の案内人】で行っております。参加希望の方は1時までに水源林ゲート前にご集合ください。費用負担等はありません。

## やどりき水源林は新緑の季節



やどりき水源林は新緑の季節、沢やスギ林にさわやかな5月の風が吹きぬけています。やどりき沢は、草や木々の新緑と共に、動物達の活動も盛んな季節がきて、にぎやかになりました。ミソサザイがさえずり、カジカガエルが鳴き始めました。スギの巨木林では、夏鳥のオオルリが訪れ美しい声でさえずり始めています。澄んだ水は、木々の緑と5月の青空の色で染まっています。



石の上で流れを見つめるカジカガエル



さわやかな気候に顔を出したシマヘビ  
(毒ヘビではありません)

4月22日には、18年度最初のパートナー林活動として、タカナシ乳業の皆さんによる、森林整備・森林散策が実施されました。水源林は県・公社と県民の皆さんのご協力により、保全されています。

◇春は山菜の季節；4～5月は、新芽や新葉が柔らかい、山菜の季節です。スギやヒノキの林縁や林内には、毒草や薬用植物が数多くあります。毒草を間違いないように、自然を壊さない程度に取りすぎず、旬の季節を味わう程度に、食べ過ぎにも注意しましょう。



テンナンショウ属の芽生え  
(毒草、薬用)



マツカゼソウの新葉  
(鹿が食べない、薬用)



ニワトコの新葉  
(食可、薬用)



ヤブレガサ (これに似た  
モミジガサが山菜の上位)



ミズナ  
(イラクサ科は食可が多い)



ミツバ (複葉枚数の多い  
キンポウゲ類に注意)

◇5月の花；春の花が、黄色・紫色につづき、白色・赤色が目立つ季節に変わってきました。5月のやどりき水源林では、ヤマブキ、ウワミズザクラや遅咲きのツボスミレが咲いていますが、5～6月にかけて「…ウツギ」と名の付く樹木の花が多く見られるようになります。



ツボスミレ



ヒメウツギ



マルbauウツギ



バイカウツギ

◇獣害；後沢周辺では、鹿の被害が見られます。かつて、鹿は保護動物として扱われてきましたが現在は全国的に鹿の被害が顕著になり、害獣として、管理対象動物になっています。やどりき水源林にも鹿の食害と共に、ヤマビルの生存が確認されています。

ヒノキの根への鹿獣害 ⇒



今月のトピックス

- ・カジカガエルが繁殖期を迎え河原で鳴いています。
- ・オオルリがスギ林でさえざり始めました。

カジカガエル (アオガエル科)

体長 3.5～7cm、メスの方が大きい。やどりき沢本流で、オスが「フィーフィフィフィ、ココ・・・」のような響き渡るきれいな声で鳴く。

来月の見所など

- ・ウツギ類の白い花が見頃となります。
- ・カジカガエルや野鳥の活動が活発となり鳴き声がよく聞けます。